

2023年度上半期

事業活動のご報告

収益の状況

業務純益は貸出金利息が増加したことや経費が減少したことなどから、前年同期比1億64百万円増加の 8億5百万円となりました。

経常利益は、前年同期比88百万円増加の7億33百万円となりました。

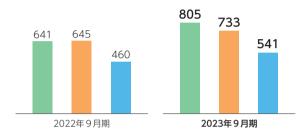
当期純利益は、前年同期比80百万円増加の5億41百万円となりました。

業務純益・実質業務純益・コア業務純益・コア業務純益 (投資信託解約損益を除く。)

(** / - - -	
(里1)/.日7円	١

業務純益	・経常利益	・当期純利益	(単位:百万円)
■ 業務純益	■ 経常利益	■ 当期純利益	

	2022年9月期	2023年9月期
業務純益	641	805
実質業務純益	641	788
コア業務純益	636	788
コア業務純益 (投資信託解約損益を除く。)	636	788



|預金・積金及び貸出金の状況

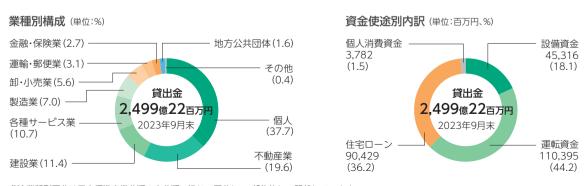
預金・積金は、前年同期比5.8%増加 の6,121億37百万円となりました。

貸出金は、前年同期比4.5%増加の 2,499億22百万円となりました。



貸出金の内訳

当金庫では、貸出審査基準に基づく厳正な審査のもと、大口化及び特定業種への偏った融資の抑制に努めています。



(注)業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて区分し、一部集約して記載しています。

自己資本比率

自己資本比率は2023年3月末比0.41ポイント低下の10.59%となりました。 国内基準の4%を大きく上回り、健全性を維持しています。

自己資本の構成

(単位:百万円)

			2023年3月末	2023年9月末
	コア資本に係る基礎項目の額	(イ)	23,658	24,122
	コア資本に係る調整項目の額	(□)	370	376
自	三資本の額 ((イ)ー(ロ))	(/\)	23,287	23,745
	信用リスク・アセット		200,639	213,173
	オペレーショナル・リスク相当額の合計額	÷8%	10,896	10,896
IJ	スク・アセット等の額の合計額	(二)	211,535	224,070
総所要自己資本額 ((二)×4%)			8,461	8,962
自	己資本比率 ((/\)÷(二))		11.00%	10.59%

自己資本比率と自己資本額(単位:百万円)



2022年9月末 2023年3月末 2023年9月末

信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権の状況

不良債権比率は2023年3月末比0.4ポイント上昇の6.6%となりました。 引続き資産の健全化に取組み、健全な経営を目指します。

2023年3月末

857

11,868

2.540

2.540

15,266

228,377

243,643

信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権の状況

(単位:百万円)

2023年9月末	
927	
11,953	
3,783	
-	
3,783	
16,664	
234,458	
251,122	





不良債権とその比率

2022年9月末 2023年3月末 2023年9月末

有価証券の時価情報

その他有価証券で時価のあるもの

破産更生債権及びこれらに準ずる債権

危険債権

小計(A)

正常債権(B)

総与信残高(A)+(B)

要管理債権

三月以上延滞債権 貸出条件緩和債権

			2023年	F3月末		2023年9月末				
	0共/邢	時価	評価差額	亚/亚辛克		時価評価差額	三亚/邢兰/郊			
	四月	計1 左観	うち益	うち損	四月		四月		計測定領	うち益
7	の他有価証券	204,816	△6,459	1,328	7,788	191,827	△10,625	1,225	11,850	
	株式	136	22	22	_	148	25	25	0	
	債券	184,813	△6,232	471	6,704	171,608	△10,149	286	10,435	
	その他	19,866	△249	834	1,083	20,071	△501	913	1,414	

- ※「その他」は外国証券及び投資信託等です。
- 満期保有目的の債券で時価のあるもの

		2023年3月末		2023年9月末			
	帳簿価額	時価	差額	帳簿価額	時価	差額	
満期保有目的の 債券	17,716	18,531	814	18,637	19,241	603	

(注)

(単位:百万円)

- 1.2023年9月末の「評価差 額」は、2023年9月末時点 の取得価額(償却原価法 適用)と時価との差額を 計上しております。
- 2.債券の評価差額のうち 80%超が、国債、地方債、 政府保証債という、信用 力の極めて高い債券であ り、満期に際しては元本 を毀損することなく額面 で償還されるものです。

(注)

満期保有目的の債券は、信用 力の高い発行体の債券であ り、満期に際しては元本を毀 損する懸念はなく額面で償 還されるものです。

SDGs/ESGに取組む事業者を応援します



SDGs/ESG サポートローン



ていらしか×SDGs

SDGs/#

「何から始めてよいかわからない」 といった声が多く聞かれます。

当金庫では

SDGsの取組みについて支援しています



取組み事例

かねてから設備導入を検討していたお客さまへSDGsに つながる導入計画策定及び脱炭素補助金申請を支援。 また資金調達に「SDGs/ESGサポートローン」をご利用 いただくなど、課題解決に向けてサポートを行いました。

「来店予約サービス」を開始しました!

下記のお取引について、スマートフォンやパソコンからいつでもご予約いただけます。ぜひ、ご利用ください。

対象お取引

- ●資産運用のご相談
- ●新規□座開設
- ◉相続のご相談
- 住所変更等各種お手続き
- ●住宅ローン、各種ローンのご相談
- ●創業、事業性融資のご相談
- *[来店予約サービス]のご予約は、来店希望日の31日前から3日前までにご予約いただけます。
- *来店予約の対象のお取引及びご来店時のお持ち物など予約可能なお手続きは店舗により異なります。



お問い合わせ先

平塚信用金庫

営業統括部 個人サポート課

87-607

平日:9:00~17:00 (土日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

[来店予約サービス対応店舗]及び 「ご予約」はこちらから

*ご予約にはメールアドレスが必要となります。



平塚信用金庫

〒254-0043 神奈川県平塚市紅谷町11番19号 https://www.shinkin.co.jp/hiratuka/

本誌についてのお問い合わせ 平塚信用金庫 総合企画部 電話:0463-24-3039

本誌掲載の一部画像については、平塚市観光協会、厚木市観光協会、 相模原市観光協会、大和市、座間市観光協会、伊勢原市観光協会、寒 川町観光協会、秦野市、海老名市より提供いただき掲載しています。





